



くすくすくん（県立図書館マスコット）

令和3年4月30日
佐賀県立図書館 総務・企画担当
担当者 横尾
内線 3711 直通 0952-24-2900
E-mail:toshokan@pref.saga.lg.jp

『佐賀県近世史料』第10編（宗教編）第7巻を刊行しました ～江戸期から明治初期における寺社史料を収集～

県立図書館では、くずし字などで記された佐賀県の近世史に関する重要な史料を活字化し刊行する佐賀県近世資料編さん事業を行っています。

今回は第10編（宗教編）第7巻（通巻29冊目）として、佐賀藩の三支藩の小城藩・鹿島藩・蓮池藩、および親類同格の多久家・武雄鍋島家・諫早家に遺された寺社史料に、明治初期の神社調査史料『じんじやしらべ神社調』を併せて収録し、発刊いたしました。

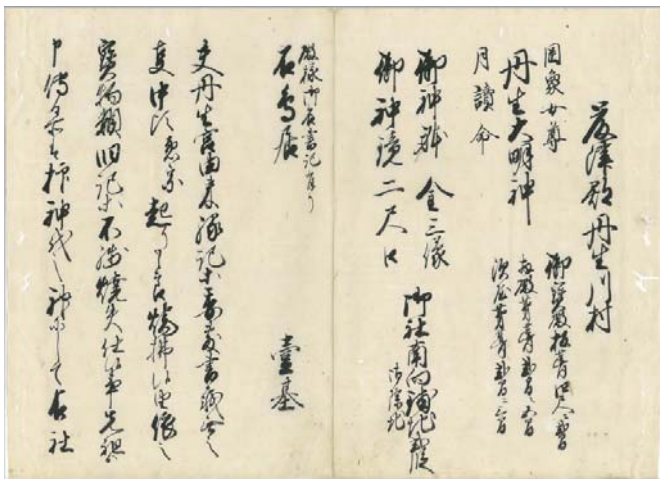
この史料集は、5月11日（火曜日）から販売・閲覧・貸出を開始します。

研究者の方はもちろん、歴史と文化を愛する県民の皆様が、佐賀藩の基礎資料として活用して下さることを希望します。

記

1 内容

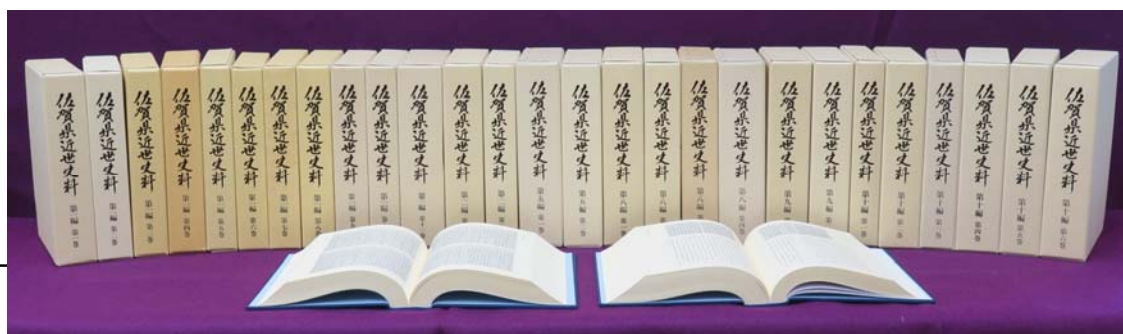
『佐賀県近世史料』第10編は、「宗教編」として江戸期の寺社関連史料を翻刻しています。これまで、天台宗・曹洞宗・臨済宗・浄土宗・浄土真宗・日蓮宗・神社・伊勢参宮・山岳信仰など宗教宗派ごとに、佐賀本藩に提出された文書や各寺社等に遺された史料をもとに史料集を刊行してきました。これに対して今春刊行しました第10編第7巻は、佐賀藩上層家臣家である支藩の小城藩・鹿島藩・蓮池藩、親類同格の多久家・武雄鍋島家・諫早家に遺された寺社史料を中心に収載しています。今回刊行した第7巻と、これまでに刊行した宗教編の各巻とを比較検討することで、近世の寺社への理解がより一層深まることと思います。



収載史料「^{とうさい がらんき}東西伽藍記」
 (佐賀県立図書館蔵〔蓮池鍋島家文庫〕)

「東西伽藍記」は、蓮池藩領内の寺社・坊などからの差出記録を編纂した史料。標題名は、蓮池藩領が、東の佐賀・神埼と、西の杵島・松浦・藤津の各郡からなることに由来すると思われる。左は、嬉野市塩田町の丹生神社たんじょうに関する記録。

- 2 本文頁数 702 頁 (他に口絵 10 頁、^{かいだい}解題 47 頁、索引 27 頁)
 解題...史料の内容や時代背景について分かりやすく説明した解説。
- 3 発行 佐賀県立図書館
- 4 価格 1冊 11,000 円
- 5 お申込み方法
 別添の「佐賀県近世史料購入申込書」に必要事項を記入の上、2 階総合カウンターへ提出していただくか、郵送又はファックスにてお送りください。
 申込書は県立図書館に設置しています。(ホームページからもダウンロードすることができます。)
 県立図書館ホームページ (<https://www.tosyo-saga.jp/>)
 【トップ画面 > 刊行物 (刊行物のご案内) > 有償刊行物 (1. 『佐賀県近世史料』)】
- 6 お支払い方法
 来館での現金払い又は PayPay 払い、現金書留、納入通知書での入金
- 7 申込・問い合わせ先
 佐賀県立図書館 郷土資料課
 〒840-0041 佐賀市城内 2 丁目 1-41
 電話：0952-24-2900 ファックス：0952-25-7049



参考 これまでに刊行した『佐賀県近世史料』